

令和元（2019）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」 （住まい活動助成部門） 中間報告

団体名

一般社団法人ヤマノカゼ舎

活動のテーマ

山の保存食カフェを拠点にした里山資源の活用と持続可能な集落づくりの活動

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ①山の保存食カフェ&集落づくり座談会：古民家が立地する揖斐川町北方 7 区(反原地区)の役員と事前打合せを持った後、7月28日の自治会常会にヤマノカゼ舎理事2名（嵯峨、森本）が出席して古民家カフェの開業計画と集落の皆さんの理解と参加をお願いした。
→自治会長と会員(全16戸)の理解が得られ、前組長が月例活動にほぼ毎回参加、現会長の大工さんに改修工事をお願いすることになった。集落内の30代子育て世代の主婦、60代主婦の2名がカフェ運営に興味があると声をかけてくれた。
- ②キッチン&トイレ改修工事の準備：集落内の大工さん(自治会の現組長)とキッチン・トイレの改修工事について打合せを行った。キッチンの改修範囲の確定、平面配置図の確定、中古厨房機器の購入下見、保健所への設備要件の確認、町上下水道課への合併処理浄化槽設置工事（補助申請）の相談を理事2名（森本、嵯峨）が中心となって8月～10月にかけて計10回ほど行った。
- ③みんなで創るカフェ講座（6月～9月）：6月に参加者募集チラシを作成配布した。7月に高齢のため廃業した伊吹山の「薬草弁当」の聞き取りを行い、再現WSを実施した。その前後にも主催の月例クラブ活動「里山 SUNDAYS」の機会に保存食メニューの試作を続けている。9月初めにカフェ開業時スタッフの女性3名と改修計画やメニュー開発の現状を情報共有して意見交換を行った。
【メニュー開発は別の受託事業資金を活用】

今後の活動予定と令和2年3月末時点の達成予定項目

- ②キッチン&トイレ改修工事（10月～12月）：10月から改修準備としてキッチンの現行設備の解体作業をボランティア参加で実施した。浄化槽設置工事を発注する水道設備業者との詰めがで次第、11月～12月を中心に業者を入れて本格工事を行う。
- ③みんなで創るカフェ講座（10月～3月）：10月に薬膳イタリアンのシェフを招いてメニュー開発実驗WSを実施。山菜の保存食について旧徳山村住民にヒアリングし12月～1月に料理講習会を開催予定。反原集落の共益作業(お祭り,草刈り,共有林整備等)に参加してカフェへ運営への意見を聞き、活動報告・予定を紙媒体で配布する「ヤマノカゼ舎たより」を10月から発行予定。1月以降に客室空間づくりのDIYワークショップを開催する計画。
- ④お試しカフェ&出前カフェ（12月～3月）：カフェ開業のプロモーションを兼ねて町外のマルシェやイベントに「保存食カフェ」の出前出店を行う機会を調整中。運営計画を検討するワークショップを専門家を講師に招いて3回程度実施予定。
- ⑤報告書作成（3月）：カフェ開業スタッフと共に活動報告および会計報告を作成。

一般社団法人ヤマノカゼ舎「山の保存食カフェを拠点にした里山資源の活用と持続可能な集落づくりの活動」

一般社団法人ヤマノカゼ舎は、農山村起業者（里山アントレプレナー）を増やすことを通じて、地域経済の活性化や地域資源の適切な管理に貢献することを目的に2017年7月に設立された。

活動拠点である古民家を「山の保存食カフェ」として改修して2020年4月にオープンすることを目指している。揖斐川上流域の植物資源と山村の伝統知を活用して新たなソーシャルビジネスを立ち上げることにより、山の価値を都会に発信して交流人口を生み出し、カフェが立地する集落の持続可能性に貢献することを目指している。

山の保存食カフェ&集落づくり座談会（7月28日の自治会常会）

プロジェクトの柱

- ①里山資源を活用した社会起業
- ②古民家改修でカフェ開業
- ③保存食づくりワークショップ
- ④山村集落の関係人口づくり
- ⑤多世代交流の働く場づくり



みんなで創るカフェ講座「山の保存食カフェ開業STAFF研修の参加者募集！」

IBIGAWA-CHO 揖斐川町で始まるよ

山の保存食Cafe

里山インキュベーターいびがわ

2020.4.OPEN (予定)

星降る古民家を拠点に保存食カフェがOPENします
揖斐川の地で育まれた様々な保存食を通して
心にも身体にも、本来のいいを伝えます

開業STAFF研修プログラムに参加しませんか？参加費無料 各料定額10名程度

※応募多数の場合は選考があります。

Step.1: 保存食フィールド調査 / Step.2: 古民家改修ワークショップ
Step.3: 保存食メニュー開発 / Step.4: 保存食カフェ運営計画
※研修プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

TEL・FAX.0585-35-5988

一般社団法人 ヤマノカゼ舎 (担当: 嵯峨)
〒501-0601 岐阜県揖斐川町北方3207-1
yamanokazeshah@gmail.com

TEL・FAX.0585-35-5988

星降る古民家 (ヤマノカゼ舎)
山の保存食カフェは
星降る古民家を
拠点に集落づくり
を行います。

IBIGAWA-CHO 揖斐川町で始まるよ

山の保存食Cafe

里山インキュベーターいびがわ

2020.4.OPEN

星降る古民家を拠点に保存食カフェがOPENします。【予定】
揖斐川の地で育まれた様々な保存食を通して心にも身体にも
本来のいいを伝えます。

開業研修プログラム参加者募集中! 参加費無料 各料定額10名程度

※応募多数の場合は選考があります。

山の保存食カフェ開業プロジェクトとは？

日本列島の東西南北の気候の交差点にあたる岐阜県は、生物文化の多様性に富み、山間地域では生き残るための知恵として「保存食」が発達しました。今、健康食・オーガニックフードとして再注目されている保存食をテーマに、築100年の古民家を改修してカフェを開業します。ここで若者と高齢者が共に働く場づくり、里山資源を活用した持続可能な暮らしのモデル作り、さらに都市部・海外との交流を促し、たく暮らしの良直し・手直しへの交流発信の拠点を創っていきます。

Step.1 保存食フィールド調査

旧山村・春日村などの特色ある食材や保存食を
少人数でヒアリング調査と体験型調査をします。 **3回程度 開催予定 10名定員**
募集期間 / 2019年6月～2019年8月

Step.2 古民家改修ワークショップ

カフェ仕様の厨房づくりのために、壁や床の
改修工事、オクトの移設、客席のインテリア
作りなどをワークショップ方式で行います。 **3回程度 開催予定 10名定員**
募集期間 / 2019年8月～2019年11月

Step.3 保存食メニュー開発

地元の料理人のお婆ちゃんやスロの料理人の
指導を受けながら、保存食をアレンジしたカフェ
メニューの試作・検討を行います。 **4回程度 開催予定 10名定員**
募集期間 / 2019年8月～2019年11月

Step.4 保存食カフェ運営計画

Step1～3の参加者を中心に、山の保存食カフェ
運営計画を立案し、事前PR活動も展開します **3回程度 開催予定 10名定員**
募集期間 / 2019年11月～2020年2月

TEL・FAX 0585-35-5988

一般社団法人 ヤマノカゼ舎 (担当: 嵯峨)
〒501-0601 岐阜県揖斐川町北方3207-1
yamanokazeshah@gmail.com

一般社団法人ヤマノカゼ舎は、伝統的な山の精神文化や里山資源の利用方法を新しい時代に受け継いでいくことを目的に2017年に設立され、その活動拠点として築100年の古民家を取得しました。農山村で起業する人を支援する年間講座「里山インキュベーター」、田舎暮らしの技を学ぶ月例クラブ活動「里山SUNDAYS」などの活動を行っています。

「開業STAFF研修プログラム」申し込みフォームをご利用ください。
詳しい内容を知りたい方・参加希望の方は、右のQRコードからアクセス、参加希望日、参加動機、STAFF希望の有無を添えてお申し込みください。

メニュー開発のための試作ワークショップ
 (7/15 伊吹山の「薬草弁当」再現ワークショップ)



(8/12 山ごはんの日「わっぱ飯を作る」)

(9/8キッチン部分の解体準備)



今後の活動予定

- ①集落住民向け「ヤマノカゼ舎たより」発行 (10月～)
- ②キッチン&トイレ改修工事 (10月～12月)
- ③みんなで創るカフェ講座 (10月～1月)
薬膳イタリアンとのコラボ、旧徳山村の保存食料理講習会など
- ④お試し出前カフェ (12月～3月) 町外でプロモーション活動
- ⑤開業スタッフでカフェ運営計画の作成 (1月～3月)

(9/29ぎふ暮らしセミナー大阪で講演)

清流の国ぎふ暮らしセミナー(大阪)

里山資源でローカルビジネスを起こす
 「山の保存食カフェ」開業プロジェクト



山の保存食カフェ 2020年4月OPEN！！

2019/09/29 嵯峨創平
 一般社団法人ヤマノカゼ舎／岐阜県立森林文化アカデミー